

1 高次脳機能障害とは

高次脳機能障害とは、病気や交通事故など、様々な原因によって脳に損傷を受けたために生じるもので、記憶力、注意力、遂行機能などの認知機能や感情又は社会的行動のコントロール機能の障害をさします。

2 主な原因疾患

高次脳機能障害を呈する疾患の60~70%を脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）が占めています。

ついで、脳外傷、低酸素脳症、脳腫瘍、脳炎などの感染症があります。

3 高次脳機能障害の主な症状



記憶障害

- ・同じことを何度も聞く
- ・病気以前の事は覚えているが新しい事は覚えられない
- ・昨日のことを覚えていない



注意障害

- ・とても疲れやすい
- ・気が散りやすい
- ・複数の事を同時にできない
- ・ミスが多い



遂行機能障害

- ・物事の段取りが苦手
- ・計画を立てられない
- ・うまく修正ができない
- ・手際よく作業ができない



感情と社会的行動の障害

- ・やる気がでない
- ・引きこもりがち
- ・怒りやすい
- ・衝動的に行動する

4 高次脳機能障害者への対応

(1) 退院後の対応の基本

- (1) 用件はひとつずつとする
- (2) ゆっくりとした話し方
- (3) じっくりと聴く
- (4) 疲れたら休息をいれる
- (5) 分かりやすい生活環境

(2) 生活を広げるために

高次脳機能障害者を家族だけで対応すると、家族は疲れてしまいます。本人にあった施設に通う事や、家族会に参加してみましょ。

家族会や施設を通して社会とのつながりが見え生活も広がります。

5 福祉サービスの利用にあたって

(1) 福祉サービスの利用

高次脳機能障害になると、しばらく自分の障害に気がつかない場合がよくあります。

このため福祉サービスを利用するには、その人の状態をよく知った家族や友人の協力が必要となります。

(2) 福祉サービスの手続き

障害の程度や障害者手帳の有無などにより利用できる福祉サービスが変わってきます。

まずは、相談窓口で電話でお問い合わせください。電話では、「現在どのようなことが問題か、なにが必要か」をお伝えください。

6 高次脳機能障害の改善

高次脳機能障害の症状は、時間がかかりますが対応の工夫や訓練（リハビリ）により改善することが知られています。

家族の方も、福祉サービスを活用して、あせらずに長い目で障害と向きあっていきましょう。